

「明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町」 「次世代に誇れる竜王町」の実現に向けて

竜王町では、平成29年度から緊急的に取り組むべき課題、優先的に取り組むべき課題を整理し、重点プロジェクトとして位置付け、複数の課がアイデアを持ち寄り、さまざまな角度から検討し、計画を立て実行する横断的なチームをつくり、課題解決に向けて進めています。平成30年度は17のプロジェクトに取り組んでいます。

将来を見据えたグランドデザインの策定をめざして

01 グランドデザイン策定とコンパクトシティ化検討

公共施設や住宅地を中心核や基幹集落に集約する農村型コンパクトシティの手法を検討します。

30年後の
竜王町って？
グランドデザインを
描きます



02 公共施設等総合管理計画の推進

町内の公共施設について、将来を見据えて、公共施設等総合管理計画に基づき個別施設計画を立て、施設の長寿命化、複合化、統廃合などを図ります。



総合庁舎

03

教育施設のあり方検討

少子化やまちづくりを踏まえ、教育施設の適切な配置や質の高い教育の継続、幼保のあり方、地域との関わりについて検討します。



医科

歯科

医科・歯科診療のあり方検討

将来的な役割や機能を見据えて、医科・歯科診療所のあり方について検討します。

04

公共交通システムの構築

路線バスの活用と効率的な路線の見直し、高齢社会に対応できるしくみづくりなど、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めます。

※現在、通学定期利用促進プロジェクトを推進中 → 関連記事 2 ページ



05

06

竜王IC周辺等機能強化・道路交通網の整備検討、希望が丘文化公園の利活用検討

企業立地状況や交通量調査結果を踏まえ、道路網の整備やICの機能強化など、さまざまな可能性を検討します。希望が丘文化公園の利活用も検討します。



名神高速道路

活力あるまちづくりをめざして

07 企業誘致推進

滋賀竜王工業団地などに優良企業を誘致し、地元雇用を促進するとともに、町有地を売却して企業誘致を進めます。



滋賀竜王工業団地に竣工した
東洋電機製造(株)

企業誘致で
活力あふれる
まちにします！

08 ふるさと納税強化対策

謝礼品の充実を図り、町の魅力を存分に発信。梨のオーナー制度を導入するなど町にも訪れていただく工夫をします。



09 スキヤキプロジェクト・道の駅モデル化推進、観光振興

町の特産品を戦略的に全国にアピールし、町内産業の活性化を図ります。道の駅がみの里の拡張やアグリパーク直売所の増築なども検討します。

スキヤキで
まちの魅力を
発信します



10

国体・スポーツクライミングによるまちづくり

2024年開催の国体で町が会場となるスポーツクライミング(ボルダリング)の普及・啓発を行います。



ボルダリング体験
(町総合運動公園)

11 農業振興のあり方検討

竜王らしい農業振興および農村保全のあり方を検討します。

住宅確保対策

人口減少に歯止めをかけるため、集合住宅の開発を進め、転入者を増やします。

安心・安全のまちづくりをめざして

13 防災情報システムの構築

新たな防災情報・行政情報の発信ツールとして防災行政無線を設置します。

すまいる接客 アクションプラン推進

明るく笑顔で適切な対応ができるよう、目標を定め職員一人一人が取り組みます。

14



今年は
「めざましON野菜～
de減塩～」レシピを
推進します

りゅうおう健康ベジ7チャレンジの推進

生活習慣病を予防し、健康寿命延伸をめざします。本年度は栄養・食生活に重点を置き、健康推進員が地域へ出向き、減塩・野菜摂取を推進します。



野菜とキノコの
ホイル包み焼き



やみつせセロリ

地域支え合いしくみづくりモデル事業推進

地域の困り事を明らかにし、地域で知恵を出し合いながら、助け合えるしくみづくりを進めます。モデル自治会を選定し、他の自治会にも広げていきます。

17

15 日野川等河川改修強化対策・国道8号整備促進

日野川河川改修や国道8号整備などについて、国に要望するための体制強化を図ります。



1.林地区の「リンリンお出かけ支援」
2.鶴川地区の講演会 3.H29モデル地区
報告会 4.H30地域まちづくり交電会

